

# 短期予報解説資料 2026年3月19日03時40分発表

気象庁

## 1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5400m以下の寒冷渦に対応して日本のはるか東を北東進する低気圧周辺からのうねりにより、北～東日本の太平洋側では波が高くなっている所がある。
- ② 若狭湾付近を東進する前線を伴う低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、西～東日本には降水が広がり、強い雨を解析。
- ③ 中国東北区の500hPa 5100m付近で-42℃以下の寒気を伴う寒冷渦に対応して、低気圧が日本海を北東進。

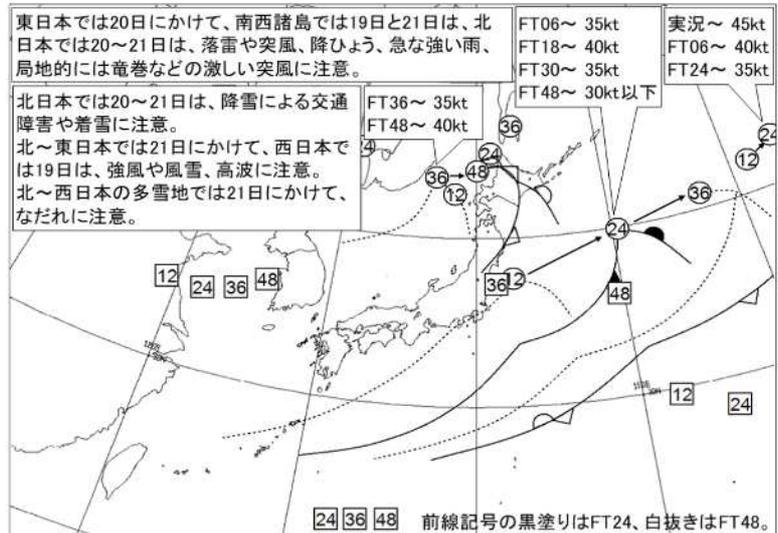
## 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 19日は、1項②の低気圧が、朝には日本の東へ進んで、その後東北東進。低気圧からのびる前線が、南西諸島付近を通過する。また、1項③の低気圧が、宗谷海峡付近に進む。
- ② 20日は、2項①の宗谷海峡付近の低気圧はオホーツク海に進んで不明瞭化。1項①の寒冷渦が北日本付近に進み、朝までに日本海で発生する低気圧が、前線を伴い発達しながら北海道の西へ進み、寒冷前線が北日本を通過。
- ③ 21日は、北海道の西の低気圧が千島近海に進み、本州付近は、朝鮮半島付近から東日本付近に中心を移す高気圧に覆われるが、東シナ海は気圧の谷となる。
- ④ 2項①～③の低気圧や前線及び気圧の谷に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。東日本では20日にかけて、南西諸島では19日と21日は、北日本では20～21日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。低気圧や前線に向かう下層暖湿気や降水の影響で、北～西日本の多雪地では21日にかけて雪解けが進む、なだれに注意。
- ⑤ 850hPaで-6℃以下の下層寒気は、19日は宗谷海峡付近から東北南部に南下、20～21日は東日本日本海側に南下する。2項②③の北日本を通過する前線を伴う低気圧の影響で、北日本では20～21日は、降雪が強まり大雪となる所がある。降雪による交通障害や着雪に注意。
- ⑥ 1項①の低気圧は、19日夜にかけて千島の東に進み、低気圧周辺からのうねりの影響は次第に弱まるが、2項①～③の低気圧や前線の周辺では、気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹いて、波が高くなる所がある。特に、20～21日にかけて北日本を通過する前線を伴う低気圧の周辺では、非常に強い風が吹きしける所がある。北～東日本では21日にかけて、西日本では19日は、強風や風雪、高波に注意。

## 3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項 [量的予報等]
- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
  - ② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。
  - ③ 波浪(明日まで) 北海道・東北・北陸4、関東・伊豆諸島・東海・近畿3m。
  - ④ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本では、注意報基準を超過する所がある。

## 5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図